

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第2区分
【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公開番号】特開2001-308418(P2001-308418A)
【公開日】平成13年11月2日(2001.11.2)
【出願番号】特願2000-126117(P2000-126117)
【国際特許分類第7版】

H 0 1 S 3/03

H 0 1 S 3/225

【F I】

H 0 1 S 3/03 Z

H 0 1 S 3/223 E

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月11日(2004.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザガスを封入しレーザ光発振のための放電を得るための少なくとも一対の主放電電極を収容配置したレーザ容器と、前記一対の主放電電極間にレーザガス流れを作り出す循環ファンと、該循環ファンの回転軸を支承する磁気軸受と、該循環ファンを駆動するモータとを具備するエキシマレーザ装置において、前記磁気軸受の電磁石は、前記レーザガスに対して耐腐食性の励磁コイルを具備し、該励磁コイルを磁性体からなる磁極に装着した構成であることを特徴とするエキシマレーザ装置。

【請求項2】

請求項1に記載のエキシマレーザ装置において、前記励磁コイルは、導電線を巻回したコイル体に非磁性体で且つレーザガスに対して耐腐食性を有するセラミック又はガラス状硬化材を充填してユニット化した構成であることを特徴とするエキシマレーザ装置。

【請求項3】

請求項1に記載のエキシマレーザ装置において、前記励磁コイルは、導電線を巻回したコイル体をレーザガスに対して耐腐食性を有するコイルケースに収容密封した構成であることを特徴とするエキシマレーザ装置。

【請求項4】

請求項1に記載のエキシマレーザ装置において、前記励磁コイルは、導電線をレーザガスに対して耐腐食性を有する材料からなるシースで密閉被覆したシース線を巻回した構成であることを特徴とするエキシマレーザ装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか1項に記載のエキシマレーザ装置において、前記磁気軸受の電磁石の磁極はレーザガスに対して耐腐食性を有する磁性体又は耐腐食処理を施した磁性体からなることを特徴とするエキシマレーザ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため請求項1に記載の発明は、レーザガスを封入しレーザ光発振のための放電を得るための少なくとも一对の主放電電極を収容配置したレーザ容器と、前記一对の主放電電極間にレーザガス流れを作り出す循環ファンと、該循環ファンの回転軸を支承する磁気軸受と、該循環ファンを駆動するモータとを具備するエキシマレーザ装置において、磁気軸受の電磁石は、レーザガスに対して耐腐食性の励磁コイルを具備し、該励磁コイルを磁性体からなる磁極に装着した構成であることを特徴とする。